

平成22年 5月31日

伊勢市長 鈴木 健 一 様

御菌地区地域審議会
会長 中 村 正

「当該地域の現状と課題及びその具体的解決案について」に対する意見書

平成20年12月11日付け20合第41号で依頼された、当地域審議会の意見は、次のとおりです。

記

現在まで、さまざまな合併の未調整項目について、新市の方針を決定して統一的な行政運営を進めていただいているところですが、すべてのサービス水準を標準化する方向で進められているため、地域の特色が失われているように感じられます。

効率的な行政運営や平等なサービス水準の確保を目指すことは理解できるが、可能な限り、それぞれの地域の特色を生かした行政運営をお願い申し上げます。

なお、協議の結果、御菌地域の最大の課題及び具体的な解決案は、以下のとおりであるので早急な対応を求めます。

- ・地域の現状と課題

山田赤十字病院は、現在の御菌町高向地内から施設の老朽化に伴う新たな病院建設により、船江町地内の東洋紡績跡地へ移転することとなっていますが、病院跡地の利用については、現在、決定していない状況とのことです。

現在の病院周辺は、住宅密集地であり道路が狭隘で災害時の避難経路も確保出来ない状況となっています。また、病院跡地の新たな利用形態により周辺住民の生活環境に影響を及ぼすことが懸念されています。

さらに、国道23号から病院の移転先周辺は、現在でも交通渋滞が多く発生する地域であり、新たに病院への来院者が増加すれば、更なる渋滞を引き起こすことが予想されます。

これらのことは、御菌町のみならず周辺地域にとっても、重要な問題であると考えられます。

- ・具体的な解決案

山田赤十字病院の跡地については、土地の所有者である同病院の意向が尊重されることは理解するが、市としても、周辺住民の生活環境の保護、防災上の観点からも、積極的に公共用地として確保し、周辺道路の拡幅、公園等の整備を行っていただきたい。

また、御菌町長屋地内の国道23号、藤社御菌線及び新たな病院周辺の渋滞緩和策として、日赤神田線及び八日市場高向線を早期に完成させていただきたい。さらに、国道23号を含めた新たな病院周辺の道路に対して歩行者や自転車への安全対策を充実させていただきたい。